

発言要旨
伊藤元重

震災によって財政への負荷が増えている

復興と財政改革
増税のタイミングと将来へつながる動き
復興資金：赤字財政と税による財源の違い

マクロ経済動向と財政健全化：震災以前

家計部門：過剰な余剰資金（弱い消費）
企業部門：過剰な貯蓄資金、弱い投資
金融部門：デフレ予想、貸し出し先の不足、低金利が続くと予想
政府部門：巨額の債務も超低金利に救われる
財政健全化のインセンティブが弱い？
国債はバブル状態なのか？
痛みが出ないと改革は進まない？

マクロ経済動向と財政健全化：震災後

新興国を中心とした過熱、資源価格高騰
欧米での長期金利動向
震災とその後の復興の中での需給バランス
供給のボトルネック、復興需要
長期金利（インフレ予想）に注目

財政健全化：二つの視点

長期的な財政バランスをどう実現するのか
国債価格の暴落のリスクの評価、それを避ける手法、
国債価格が下がったとき（国債利回りが上がったとき）の経済への影響

税と社会保障の一体改革

合成の誤謬に陥らないために